

総合人間科学系 教職支援センター

豊かな人間性と創造性を備えた人間の 育成は、出会いと探究の連続過程

教員免許状取得に必要な「教育課程及び指導法に関する科目」や、学芸員資格取得に必要な「博物館に関する科目」などを担当しています。

教育の目的の一つである平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質の資質や能力を育成するという観点から、子供たちの発達段階や教科の特性に応じ、子供たちが主体的・能動的に探究する学習のあり方を教育現場と連携しながら実践的な研究をしています。同時に、教師の資質向上の方策を探り、教師のカリキュラム・マネジメント能力開発のための研修プログラムの開発を行っています。

教職支援センター



小山 茂喜 教授

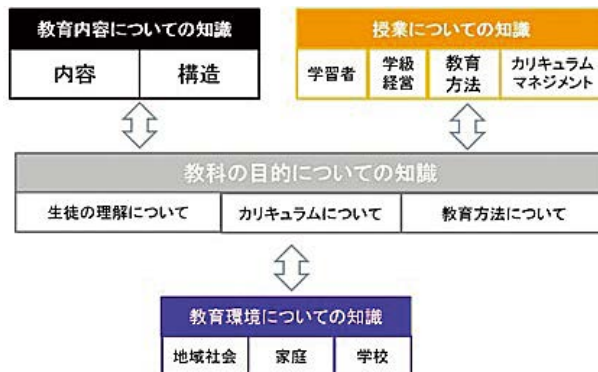
東京学芸大学卒業、上越教育大学大学院修了。長野県内の小・中学校教諭、長野市教育委員会指導主事等を経て、2007年信州大学に赴任。2016年より教職支援センターに所属。

研究から広がる未来

私たちは、日々の生活の中で、様々な事象や人と出会い、そこで探究し、教育基本法という「人格の完成」をめざし、一步一步成長しています。教育は、この地道な成長の過程を、どのように支援するかを課題としています。そのため、どのような内容を、どのような方法で教育実践することが望ましいのかを、教育実践の場で実証的に考察をし、教育内容・教育方法について教育現場に提案をする研究をしています。

卒業後の未来像

教育は、学校教育の場だけでなく、家庭での教育、地域での教育活動、企業内での教育等、生涯を通して連続的に行われるものです。教育を学ぶことで、文化的で創造性に富む豊かな人生を拓いてほしいと思います。



教育課程編成に求められる教師の知見



授業設計には欠かせない教材研究。専門的な知識を活用し、楽しい教材の開発を行います。